

令和2年度 公益社団法人曾於医師会 事業計画書

はじめに

2020年はオリンピック、パラリンピックや鹿児島県国体の年として期待と華やかさを期待していたが、昨年末の COVID-19 という思いもかけないものが我々身近に迫ってくるという事態となっている。早期の終結を望むばかりであるが、医療人としては冷静沈着にこの状況に対峙しなければならないと思っている。

社会保障制度の持続という観点からはじまった医療構想というものは、改めて自分たちの置かれている地域というものを考える出発点となった。医療・福祉分野だけでなく幅広い人々に対して、社会での活躍の場を保障し、日本の社会の発展を遂げていくための基盤として社会保障制度を確立することの重要性を認識することが必要であると改めて感じさせられた。

医師会は医療人としての知識と経験を、社会を構成する多くの人々に還元してきた。今後も社会が健全に発達するためあらゆる方面で医師会が力を提供するという基本的な考え方を再認識する必要がある。新たな年度の初めにあたり、状況変化に対する柔軟な対応と意思決定の迅速化が今までに増して必要と思われるので、会員諸氏のさらなるご協力をお願いする次第である。

公益社団法人曾於医師会
会長 肝付 兼達

事業内容

- (1) 医道の高揚に関する事業
 - (a) 曾於医療圏の医療関連情報の整備

- (2) 医療の普及充実に関する事業
 - (a) 地域医療の充実強化に関する事業
 - (b) 地域医療に関する事業
 - ・日曜在宅当番医制度の維持・向上
 - ・夜間急病センター・救急情報センターの維持・向上
 - (c) 各種健診に関する事業
 - (d) 予防医学に関する事業
 - (e) 公衆衛生に関する事業
 - (f) 災害医学に関する事業
 - (g) 産業保健衛生に関する事業
 - (h) 学校保健に関する事業
 - (i) 大学の医学教育に関する事業

- (3) 医師の卒後教育に関する事業

- (4) 共同利用施設の運営に関する事業
 - (a) 病院運営に関する事業
 - (b) 介護老人保健施設の運営に関する事業
 - (c) 訪問看護ステーションの運営に関する事業
 - (d) 居宅介護支援事業の運営に関する事業

- (5) 委託事業の運営に関する事業
 - (a) 地域産業保健センターの運営に関する事業
 - (b) 医療介護連携事業の運営に関する事業
 - (c) その他委託事業の運営に関する事業